

# 令和6年度 学校関係者評価

学校名	北海道伊達高等養護学校
-----	-------------

組織名	学校運営協議会
評価者	
・学校運営協議会委員6名 (保護者1名含む)	

## 1 本年度の重点目標

一人一人の自己理解を深め、主体性や可能性を引き出す教育活動の推進

- 学習指導：共有した生徒の実態に基づく「指導と3観点評価の一体化」による授業力の向上
- 生徒指導：教務・舎務一体の課題予防的生徒指導の推進と発達支持的生徒指導による全人的な育成
- 進路指導：「進路の手引き」を活用した教務・舎務一体のキャリア教育の充実

重点目標の適切さ

- ・何を意味しているか、先生方が共通理解しているのであれば良いが、文章から何をイメージしたらいいかわからなかった。
- ・素晴らしい学校経営を実践されていると感じる。生徒達が今後地域で活躍できる人間となれるような取組を期待している。
- ・各評価において良い点悪い点の考察がされていると思う。
- ・適切である。

## 2 自己評価結果

学校評価(自己評価)から、改善の方策まで				学校関係者評価					
大項目	中項目	評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善の方策の適切さ
		小項目							
教育活動	学習指導	3観点評価により、主体的・対話的で深い学びが進んだか		3	3	年度末評価で挙げられた、新しい教育課程の改善点について、教育課程検討委員会を中心に引き続き検討をしていく。次年度の校内研究において、シラバスの整理と授業の工夫改善に向けた取組を進める。	3	4	4
		生徒アンケートから、何ができるようにするか明確にできたか		3	3				
		新しい教育課程の実施にあたり、指導方法・内容を生徒の実態から見直し改善したか		3	4				
	生徒指導	自己肯定感や規範意識を高める教育相談力向上の実践ができたか		3	3	生徒指導提要に基づいた基本的な生徒対応の向上に加え、生徒の人権や体罰・不適切な指導の根絶に向けた研修等を実施し、生徒指導力の向上を図る。	3	4	4
		学舎で情報共有し、目標・評価等に活用し効果的な指導ができたか		3	4				
		生徒指導提要に基づき、保護者・寄宿舍・関係機関等と連携できたか		3	4				
	キャリア教育	「進路の手引き」を活用しキャリア発達を促すことができたか		3	2	校内研修を通して、進路の手引きや進路ノートの活用について、全教職員で共通認識ができる機会を持つ。生徒や保護者のニーズ、社会から求められている力を把握し、生徒が力を発揮できる職場開拓を進める。	4	3	4
		生徒向け「進路ノート」を活用し、学年段階ごとの意欲を形成できたか		3	2				
		生徒が力を発揮し貢献できる新たな職場を開拓できたか		3	2				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい教育課程に合わせて授業等を工夫し、より良く生徒に伝えられるよう工夫を。</li> <li>・キャリア教育については、担任と、それ以外の教員で関わりの量の違いがあると思うが、担任やキャリア教育(進路)以外の教員ができることを明確にすると向上できるのではないかと。</li> <li>・学習、生徒指導については、アンケート結果などからも取組内容が活かされ、より良い体制になっていると考える。</li> <li>・キャリア教育は、生徒に将来のことを想像させる難しい内容だと思うが、とても重要なので今後の体制整備に期待する。</li> <li>・生徒アンケートから「相談相手」において親と先生が同じ%であり、生徒の信頼度という点で評価できる。</li> </ul>								
学校経営	信頼される学校づくり	HPや各種通信等による効果的情報発信ができたか		3	3	伊達市や各報道機関の協力を得ながら、地域への更なる情報発信に努める。藍育ファンディングを軸とした藍に関する全体計画を基に、地域や近隣校との交流機会を増やしていく。	3	4	4
		藍を活用した活動や自治会、近隣校との協働ができたか		3	3				
		他校の特別支援Coの育成及び地域の教育力向上に貢献できたか		3	3				
	組織運営	藍の活用、SDGsの視点を取り入れた全校的な取組ができたか		3	3	学校評価やグラウンドデザインを基にした、各分掌毎の具体的な改善を図る。職員間の尊重と対話を大切に、チームで業務を推進する意識の向上を図る。	4	4	4
		前年度の学校評価に基づいた学校経営の改善ができたか		3	3				
		教務と寄宿舍、保護者や地域などお互い多様性を尊重し【和】を重んじて、協働に向け意識して業務に取り組めたか		3	3				
	教職員の資質向上	特別支援学校高等部としての向上機会の紹介と学び続ける研修ができたか		3	3	不祥事防止委員会を中心とした計画的な研修を実施し、更なる規範意識の向上を図る。働き方改革コアチームを中心として、具体的な業務の効率化とスリム化を図る。	3	4	4
		ハラスメントの根絶、服務規律の徹底、法令順守の取組がなされたか		3	3				
		教育課程の検討や働きがいと業務の効率化やスリム化が両立できたか		2	3				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長を先頭とした学校経営や常に一生懸命な教職員の姿勢は素晴らしいと感じている。今後も「生徒の将来のために」取組の継続をお願いしたい。</li> <li>・今後の改善の方策について、今回の取組から導き出されたものだと思うので、最善のものとする。</li> </ul>								